建設通信新聞

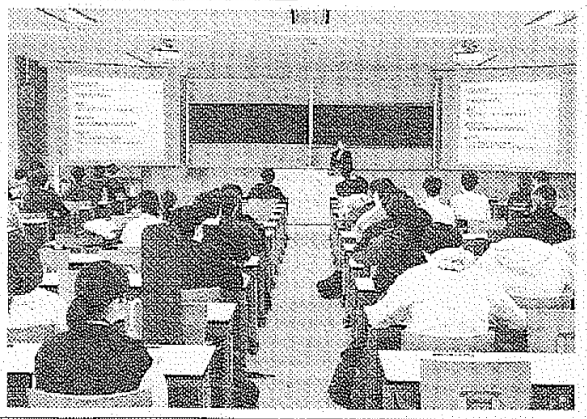
測量業界への理解深める

ソクジョの会が広島工大訪問

日測協

日本測量協会の「ソクジョの会」は2日、広島市の広島工業大学を訪問し、「測量コンサルってどんな仕事？」をテーマに講義した＝写真。同会のメンバーが自身の経歴や仕事の内容などを紹介し、将来の仕事の選択肢として、測量業界に興味を持ってもらうよう呼び掛けた。

ソクジョの会では、これまでに都内や信越、東海、近畿、四国の大学を訪問し、その活動などをきっかけに、測量業界への入職につながった実績がある。今回、中国地方では初めての学校訪問となり、環境学部地球環境学科の学生に、将来の働く姿をイメージできるよう、「外業の頻度・割合」「リアルな業務の様子」などを紹介した。



講義では、ソクジョの会メンバーの槇山千尋氏（中日本航空）が測量コンサルの仕事を解説した。その後、二木あさ子氏（パスコ）が環境調査・深浅測量、趙麗嫻氏（国際航業）が航空写真測量・オルソ作成、樋口陽子氏（アジア航測）が道路台帳の更新など、槇山氏が地方自治体支援の固定資産業務について、自身の経験談を交えながら紹介した。

学生たちは、第一線で活躍する技術者との交流を通じて、業界に対する理解を深め、今後の進路や将来の働き方について考える機会となった。